

協会けんぽ島根支部の課題について

令和4年10月24日 令和4年度第2回評議会



課題	これまでの取組と評価	今後の重点施策とその検証方法 (案)
<p>①「新生物」による1人当たり入院医療費が全国平均を上回っている。</p>	<p>○これまでの取組と結果 ・生活習慣病予防健診の受診勧奨。 受診率 R2：64.0%、R3：65.7% ・被扶養者に対しては特定健診とがん検診を1日でまとめて受診できる「家族のためのがん検診パック」を勧奨。 利用者数 R2：336名、R3：358名</p> <p>○取組に関する評価 平成29年度から比較して令和2年度の「新生物」による1人当たり入院医療費は14,467円→12,544円と減少しているため、従来の受診勧奨業務は継続。</p>	<p>○更なる生活習慣病予防健診受診者の拡充 ・年度当初に県西部地域での被保険者向け集団健診を実施。 ○被扶養者に対してのがん検診周知 ・特定健診とがん検診を併せて実施している市町村の集団健診を周知。</p> <p>◎検証方法 長期的な「新生物」医療費の推移。</p>
<p>②「精神および行動の障害」による1人当たり入院外医療費が全国平均を上回っている。</p>	<p>○これまでの取組と結果 ・健康宣言事業所向けに健康づくり出前講座において2種類のメンタルヘルス講座を実施。 実施数 R2：12回、R3：12回</p> <p>○取組に関する評価 平成29年度から比較して令和2年度の「精神および行動の障害」による1人当たり入院外医療費は7,065円→7,853円と年々増加している。(全国平均は約300円の増加) 社会情勢も考慮し、メンタルヘルスに関する事業は拡大していく必要がある。</p>	<p>○メンタルヘルスに関する分析および展開 ・メンタルヘルスにおける地域、職域の特性を踏まえた分析を行い、セミナー等で対策について展開を図る。</p> <p>◎検証方法 長期的な「精神および行動の障害」に関する医療費の推移。</p>

※令和2年度は新型コロナの影響で医療費等データの数値が例年とは異なる動きを見せていることをご承知おきください。

課題	これまでの取組と評価	今後の重点施策とその検証方法 (案)
<p>③「代謝リスク保有率」「運動習慣要改善者」の割合が全国平均を上回っている。</p>	<p>○これまでの取組と結果 ・ウォーキングイベントを毎年実施。 参加者数 R2：中止、R3：901名 ・正しいウォーキングに関する動画を作成しYouTubeで配信。 視聴回数 約1,500回（令和2年12月～）</p> <p>○取組に関する評価 平成29年度から比較して令和2年度の「代謝リスク保有率」の割合は男性21.1%→23.5%、女性9.6%→11.0%と増加している。平均年齢の上昇も鑑み、引き続き運動習慣の定着について更なる推進をする必要がある。 「1日30分以上の運動習慣が無い」の割合 H29→R2 男性：79.4%→76.8%、女性89.2%→87.7% ウォーキングイベントの内容については見直しを加えつつ、引き続き運動習慣の定着について更なる推進をする。</p>	<p>○運動習慣定着のための広報強化 ・島根県民の運動習慣および健診リスクとの相関等を分析し、新聞特集記事等で運動習慣改善に向けた啓発を実施。 ○その他保健指導の実施 ・腹囲は正常値であるが血糖値が高リスクである加入者に対しての保健指導を積極的に実施。</p> <p>◎検証方法 代謝リスク保有率・運動習慣要改善者の改善者数。</p>
<p>④ KPI指標「受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合」が全国で47位である。 (KPI：12.9%、実績：7.9%)</p>	<p>○これまでの取組と結果 ・生活習慣病予防健診実施機関と連携した未治療者受診への二次勧奨。 勧奨者数 R3：52名（R3より開始）</p> <p>○取組に関する評価 KPI指標実績 R2：8.9%、R3：7.9% 令和3年度は13機関と連携したが、受診者が多い公社等との契約を結べず、二次勧奨対象者カバー率は22%に留まった。 引き続き連携機関の増加に努める。</p>	<p>○健診受診後の事業所を通しての受診勧奨 外部業者へ委託し、委託業者から事業所を通して、電話等による受診勧奨。</p> <p>◎検証方法 KPI指標「受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合」の達成状況。</p>

※令和2年度は新型コロナの影響で医療費等データの数値が例年とは異なる動きを見せていることをご承知おきください。